



～大村警察署編②～

大村警察署の歴史②大正～平成



大村警察署警務課

長崎県警察60周年に伴い大村警察署の歴史を知り、警察の原点について考えます。

大村警察署の歴史②

前回は、警察の前身である警察出張所や屯所など、明治時代の大村警察署の庁舎や管轄地域についてでしたが、今回は大正・昭和・平成の変遷を調べます。

大村警察署のあゆみ～大正・昭和

大正時代の変遷



大正15年3月：大村警察署彼杵分署が廃止され、彼杵警部補派出所が新設

大正15年5月：大村警察署を大村市西本町458番地8に新築

(木造瓦葺き2階建て家屋)



大村警察署の管轄区域は、(大正15年6月現在)

大村町、西大村、三浦村、鈴田村、萱瀬村、竹松村、福重村、松原村、彼杵村、千綿村

昭和時代の変遷



昭和14年：大村、西大村、竹松が合併して大村町となる

昭和17年：町村合併により、大村町、三浦村、鈴田村、萱瀬村、福重村、松原村、松原村の1町5村が、大村市として発足した。

これに伴い、管轄区域は **大村市、千綿、彼杵** となった。

昭和23年3月7日：終戦後、警察制度の改革により、国警、自警と分離され、大村市に**大村市警察署**が置かれ、千綿村、彼杵町は国警の東彼地区警察署の管轄に編入された。

昭和29年7月1日：警察法が改正

県単位の地方警察になったため、長崎県大村警察署に改組されて大村市を管轄。管内全派出所を廃止して、**松原・福重・萱瀬・諏訪・宮小路の各派出所は巡查駐在所とし、原口巡查部長派出所を巡查派出所**とした。

昭和35年3月10日：大村市西本町にあった庁舎が老朽化により武部町宮の本330番地1に鉄筋コンクリート2階建て庁舎新築・移転した。

そして平成へ



→地図記号の×は警棒を意味しています

平成7年12月2日：大村警察署庁舎老朽化のため、大村市森園町34番地5に鉄筋コンクリート5階建て庁舎新築、移転し、現在に至る。

現在**管轄区域は大村市、4交番・4駐在所、1警備派出所(空港)**

明治の発足から様々な変遷を経て、現在に至りました。

